

授業科目名	地域看護学活動論	担当教員	講師 榊原文		
開講年次及び学期	2年後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	60	単位数	2
<b>授業の目的（概要）</b>					
<p>地域で生活する人々を対象とした公衆衛生看護活動として、地域診断による潜在的・顕在的な健康課題の分析方法や、健康教育・家庭訪問等の地域住民への直接的な支援技術について教授する。</p> <p>発達課題別・健康課題別の保健活動としては、ライフサイクルをつなぐ母子・成人・高齢者への支援や、精神・感染症・難病などの健康課題別の活動方法について演習事例を取り入れながら教授する。</p>					
<b>学修成果（到達目標）</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域集団の特性に応じた保健活動の展開方法を説明できる。</li> <li>2. 発達課題別の保健活動を説明できる。</li> <li>3. 異なる健康課題を持つ対象者への保健活動を説明できる。</li> <li>4. 健康課題を持つ対象者への各種社会資源の活用方法を説明できる。</li> <li>5. 地域診断を通じて、健康課題を導くことができる。</li> <li>6. 健康教育の意義と方法を理解し、健康教育を実施できる。</li> <li>7. 保健指導の基本を理解し、個別援助技術の手法を説明できる。</li> <li>8. 家庭訪問の意義と一連の過程を理解し、訪問事例を展開できる。</li> </ol>					
<b>キーワード</b>					
公衆衛生看護活動，地域診断，健康教育，保健指導，家庭訪問，発達課題別保健活動，健康課題別保健活動					
<b>授業の進め方</b>					
オンデマンド型講義，Teamsによるグループワーク，対面による健康教育プレゼンテーション・家庭訪問ロールプレイ					
<b>成績評価の方法（合否基準）</b>					
Moodle上での小テスト，リフレクションペーパー，レポートにより評価します。					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>					
<p>【教科書】 荒賀直子・後閑容子編集：公衆衛生看護学. Jp，インターメディカル，最新版 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術，医学書院，最新版</p> <p>【参考書】 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動，医学書院，最新版 日本看護協会監修：保健師業務要覧，日本看護協会出版会，最新版</p>					
<b>オフィスアワー</b>					
榊原文（地域・老年看護学講座） 質問等随時 E-mail: aya@med.shimane-u.ac.jp					

## モデル・コア・カリキュラムとの関連

- B-1 人々の暮らしを支える地域や文化
- B-2 社会システムと健康
  - B-2-1) 健康の概念
  - B-2-2) 環境と健康
  - B-2-3) 生活・ライフスタイルと健康との関連
  - B-2-4) 地域ケアシステム
  - B-2-5) 社会の動向と保健・医療・福祉制度
  - B-2-6) 疫学・保健統計
- C-1 看護学に基づいた基本的な考え方
  - C-1-4) 看護過程
- C-2 生活者としての人間理解
  - C-2-2) 個人と家族
  - C-2-3) 生活環境としての場
  - C-2-4) 地域社会における生活者
- C-3 生物学的に共通する身体的・精神的な側面の人間理解
  - C-3-3)-(2) 成長・加齢による変化
- C-4 疾病と回復過程の理解
  - C-4-2)-(6) 感染
- C-5 健康障害や治療に伴う人間の身体的・精神的反応の理解
  - C-5-3)-(8) 免疫系、感染防御系の健康障害と人間の反応
  - C-5-3)-(10) 精神・心身の健康障害と人間の反応
- D-1 看護過程展開の基本
  - D-1-2) 多面的なアセスメントと対象者の経験や望み（意向）に沿ったニーズ把握
- D-3 発達段階に特徴づけられる看護実践
  - D-3-1) 生殖年齢・周産期にある人々に対する看護実践
  - D-3-2) 小児期にある人々に対する看護実践
  - D-3-3) 成人期にある人々に対する看護実践
  - D-3-4) 老年期にある人々に対する看護実践
- D-4 健康の段階に応じた看護実践
  - D-4-1) 予防が必要な人々に対する看護実践
- D-5 心のケアが必要な人々への看護実践
- D-6 組織における看護の役割
  - D-6-3) 保健・医療・福祉チームにおける連携と協働
- E-1 多様な場の特性に応じた看護
  - E-1-1) 多様な場の特性
  - E-1-2) 多様な場に応じた看護実践
- E-2 地域包括ケアにおける看護実践
  - E-2-1) 地域包括ケアと看護
  - E-2-2) 地域包括ケアにおける看護の役割

## 準備学修に必要な学修の時間

各講義の中で指示します。

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	テーマ	授業内容	担当者
1	10月5日 (火)	13:00～ 14:40	N21	オンデマンド講義	活動技術論(1)	地域診断	榊原
2		14:55～ 16:35	"	個人ワーク (個別指導)	活動技術論(2)	地域診断(コミュニティ・アズ・パートナーモデル)の個人ワーク	榊原,今岡
3	10月12日 (火)	13:00～ 14:40	"	オンデマンド講義	母子保健	母子保健の動向と健康課題	榊原
4		14:55～ 16:35	"		母子保健	乳幼児の成長発達と保健指導	榊原
5	10月19日 (火)	13:00～ 14:40	"	オンデマンド講義	母子保健	健康上のリスクを持つ母子への保健指導	榊原
6		14:55～ 16:35	"	個人ワーク (個別指導)	活動技術論(3)	地域診断(コミュニティ・アズ・パートナーモデル)の個人ワーク	榊原,今岡
7	10月26日 (火)	13:00～ 14:40	"	オンデマンド講義	成人保健	成人期の保健指導の動向と健康課題	榊原
8		14:55～ 16:35	"		成人保健	成人期の保健指導/健康づくり活動の実際	榊原
9	11月2日 (火)	13:00～ 14:40	"	Teams (グループ発表)	活動技術論(4)	地域診断のグループ発表	榊原,今岡
10		14:55～ 16:35	"	オンデマンド講義	活動技術論(5)	健康教育の展開/演習ガイダンス	榊原
11	11月9日 (火)	13:00～ 14:40	"	オンデマンド講義	高齢者保健	高齢者保健指導	榊原
12		14:55～ 16:35	"		高齢者保健	高齢者保健指導	榊原
13	11月16日 (火)	13:00～ 14:40	"	オンデマンド講義	難病保健	難病保健指導	榊原
14		14:55～ 16:35	"	Teams (グループワーク)	活動技術論(6)	健康教育指導案および教材作成のグループワーク	榊原,今岡
備考							

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	テーマ	授業内容	担当者
15	11月30日 (火)	13:00～ 14:40	N11	対面	活動技術論(7)	健康教育発表	榊原,今岡
16		14:55～ 16:35			活動技術論(8)	健康教育発表	
17		16:50～ 18:30			活動技術論(9)	健康教育発表	
18	12月7日 (火)	13:00～ 14:40	N21	オンデマンド講義	感染症	感染症対策の動向と課題	榊原
19		14:55～ 16:35	"		感染症	感染症保健指導	榊原
20	12月14日 (火)	13:00～ 14:40	"	オンデマンド講義	精神保健	精神保健指導	榊原
21		14:55～ 16:35	"		活動技術論(10)	家庭訪問による援助の展開/演習ガイダンス	榊原
22	12月21日 (火)	13:00～ 14:40	"	オンデマンド講義	活動技術論(11)	健康相談	榊原
23		14:55～ 16:35	"	Teams (グループワーク)	活動技術論(12)	家庭訪問援助展開のグループワーク	榊原,今岡
24	1月11日 (火)	13:00～ 14:40	"	オンデマンド講義	産業保健	産業保健の概要	花田(嘱託講師)
25		14:55～ 16:35	"		産業保健	産業保健指導の実際	花田(嘱託講師)
26	1月28日 (金)	13:00～ 14:40	N11	対面	活動技術論(13)	家庭訪問援助展開の発表	榊原,今岡
27		14:55～ 16:35			活動技術論(14)	家庭訪問援助展開の発表	
28		16:50～ 18:30			活動技術論(15)	家庭訪問援助展開の発表	
備考							